

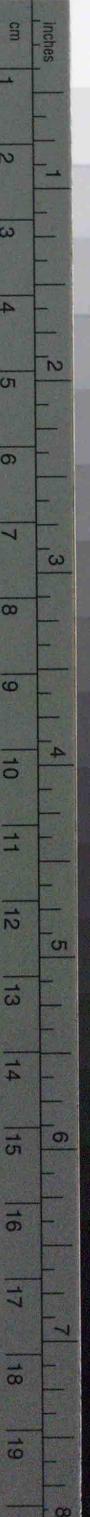
40695

教科書文庫

4
710
44-1919
20000 21671

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

**Kodak Color Control Patches**

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

C Y M

© Kodak, 2007 TM. Kodak



教科書文庫
4
710
41-1919
2000021671

375.9
Ab5

阿部七五三吉
谷 鎮太郎 共著
新圖畫教科書
中學校用



濟定檢省部文

廣島大学図書

2000021671



株式會社 培風館

卷

年八正大三月一日

2、只摸倣するだけでなく、何等かの創造をするには、工夫に對する参考資料が豊富でなければならぬ。

此の意味からして、本書は紙面の許す限り多くの資料を提供した。畫の細くなつたのも其の爲である。

3、諸子が本書の挿畫を臨摹する場合でも、同寸同大にのみ畫くやうではいかぬ。大きくも小さくも、頭を動かし工夫を加へて盡くのでなければ、甲斐がない。本書の形を小さくして機械に便にしたもの、其の意味である。

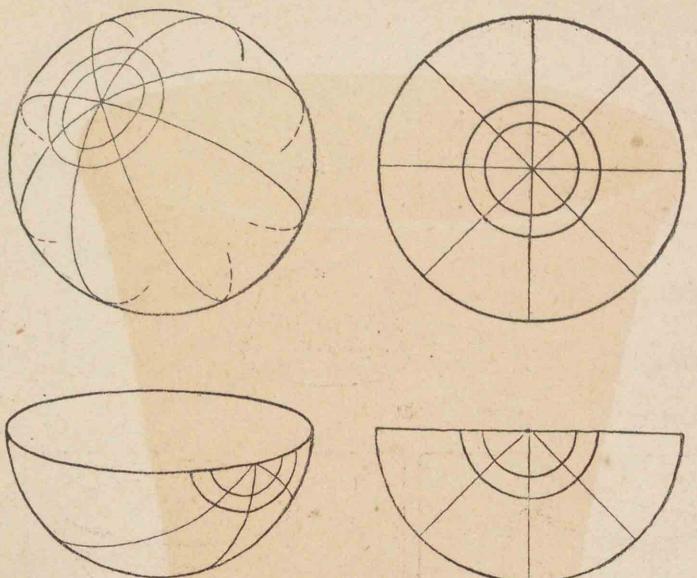
4、諸子の目に手に繰返へし「觸る」教科書は、知らず識らず諸子の趣味に影響を與へる。本書は此の意味を重視し、内容外觀に出來得る限り健全な趣味の養成を資する爲の注意を拂つた。

5、草木は大抵花を開き實を結ぶ天分を有つて居る。之に向つて適當なる養分を與ふることは其の開花を旺んにし、結實を豊かにする所以である。本書の役目は諸子に其の養分を給するにあるのであるが、諸子が能く之を攝取するでなければ、何の用もなさぬ結果の良否は一に諸子の態度如何に繋るものと覺悟すべきである。

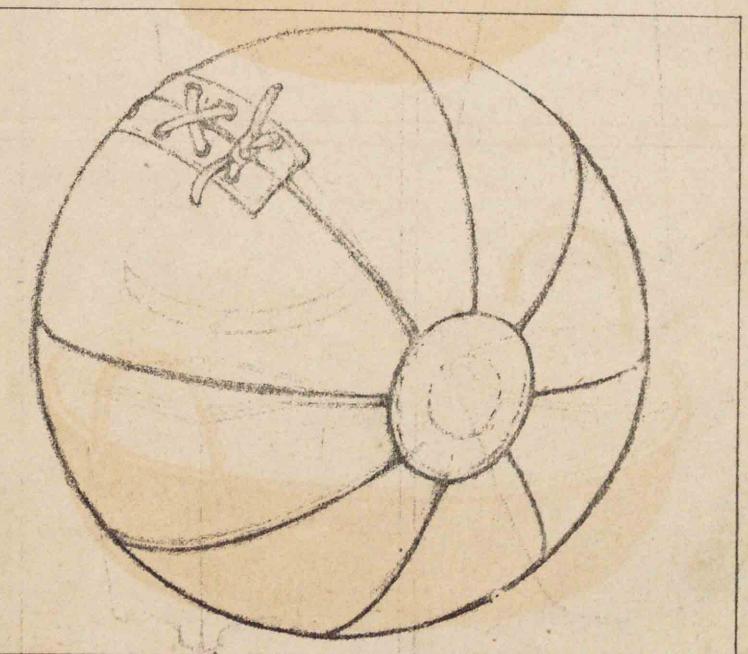
- 1、圖畫科の對象は自然界及び人工物に於ける形と色とである。
- 2、此の形と色とは理科的にも歴史的にも趣味的にも觀察せられるが、是等の觀察を精緻ならしめて、人生に役立たしむるのは、實に圖畫科の任務である。随つて圖畫科は其の圖畫的發表の手段に重きを置いて居る。
- 3、又形と色とを組立てる工夫即ち有形的考案の基礎は、専ら圖畫科の指導する所である。是等工夫の巧拙は、大にしては一國商工業の盛衰消長を來たし、小にしては各人の日常生活に於ける秩序不秩序快不快の基となつて重大なる結果を生むものである。
- 4、更に形と色とに對する人々の趣味の向上は、人心が物質實利にのみ流るゝ危險を済ひ、物質と精神とを程よく調和融合せしむる效能がある。
- 5、本書は諸子の爲に以上の目的を達せしめ得べきやう、十分なる用意の下に編纂した。左に一二の例を擧げる。

1、觀察の精緻、發表の確實、工夫の巧妙、凡そ是等の目的を達するには、先づ何よりも原理の領解が大切である。それ故本書は其の點に對して大に力を用ひた。

○ 球の遠近法



方れば表の線分等るけ於に面表の球



例作—ルーポトツフ



植鉢



提鍋

圖書

虛線
位置

實線
運筆
造形

寫生

紙口タ

靜物

ヨコ

鉛筆尺度法

紙口

實線

水テハ空キヨセシ

ヨイセシカゲ

形狀

眼ヨリ高キモノモノハ

ヨリニクモノ

オナシヨウニスル

ヨコシテイサク
ナカキタガタ

6 5 4 3 2 1

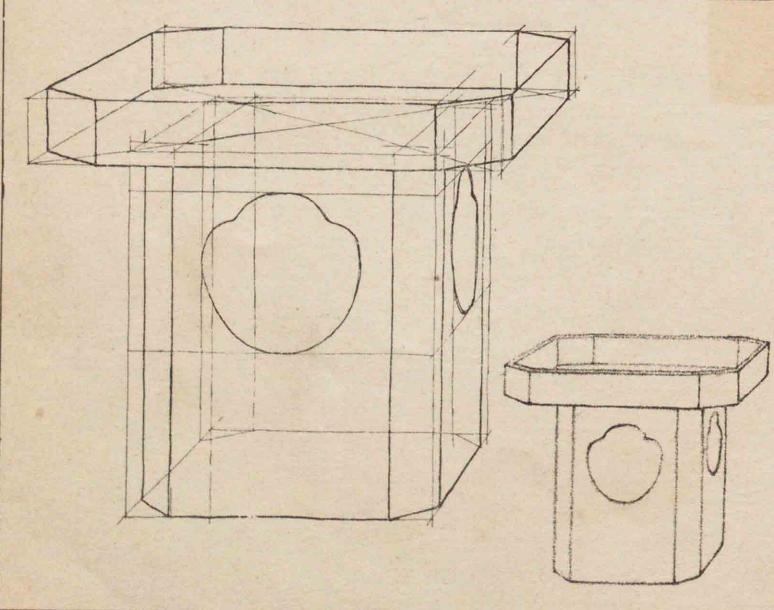
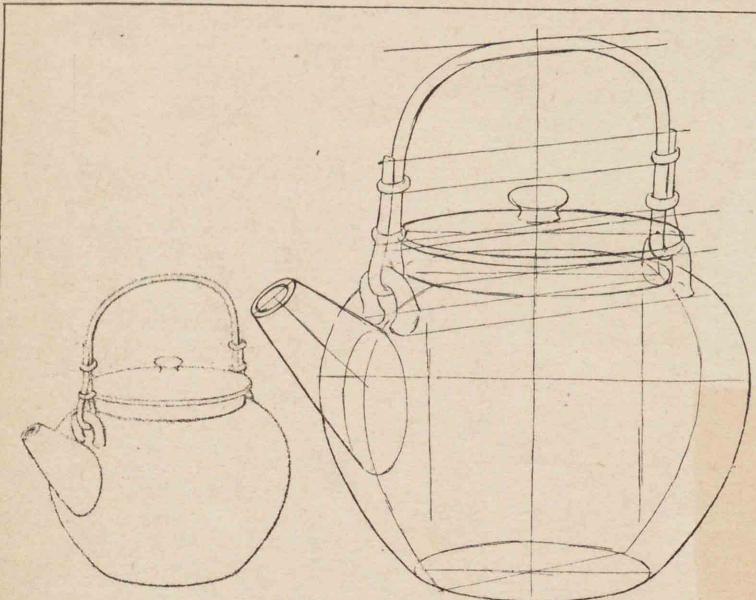
○遠近法の複雑なる利用

島大印學書圖

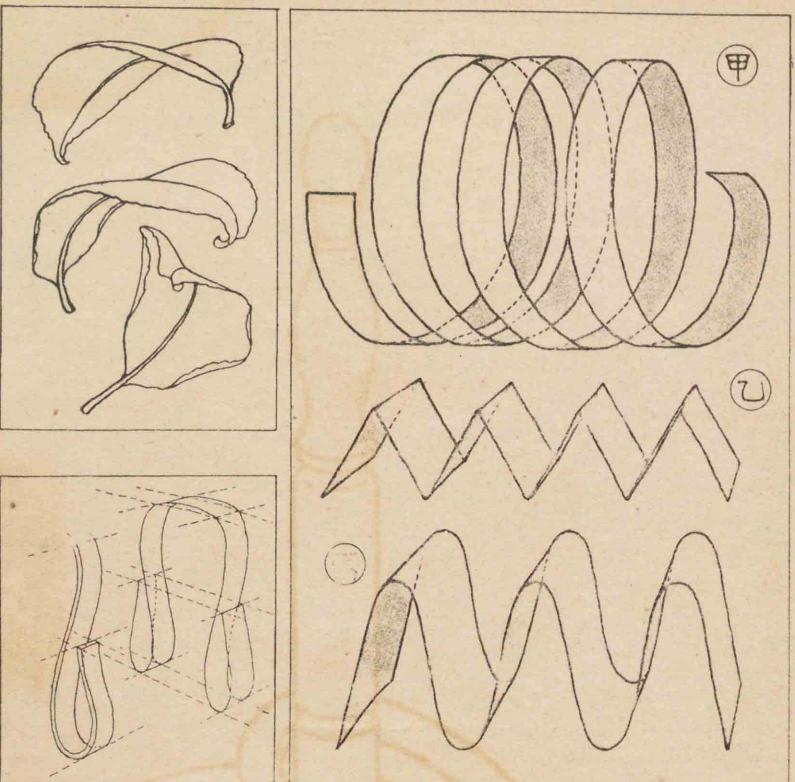
瓶土

寶三

5

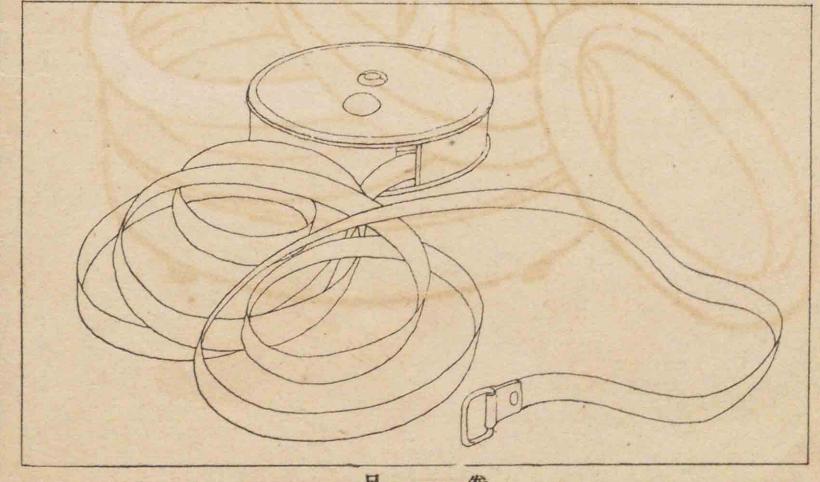


○物の翻り方

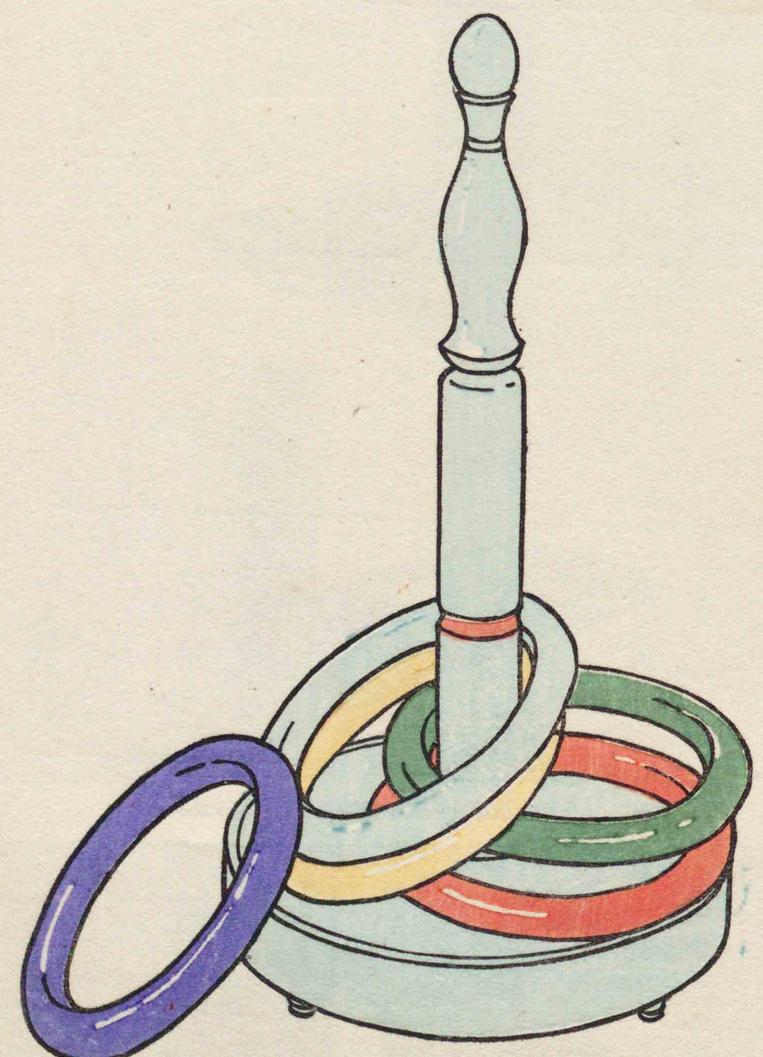


るつの瓶土

理原の方り翻

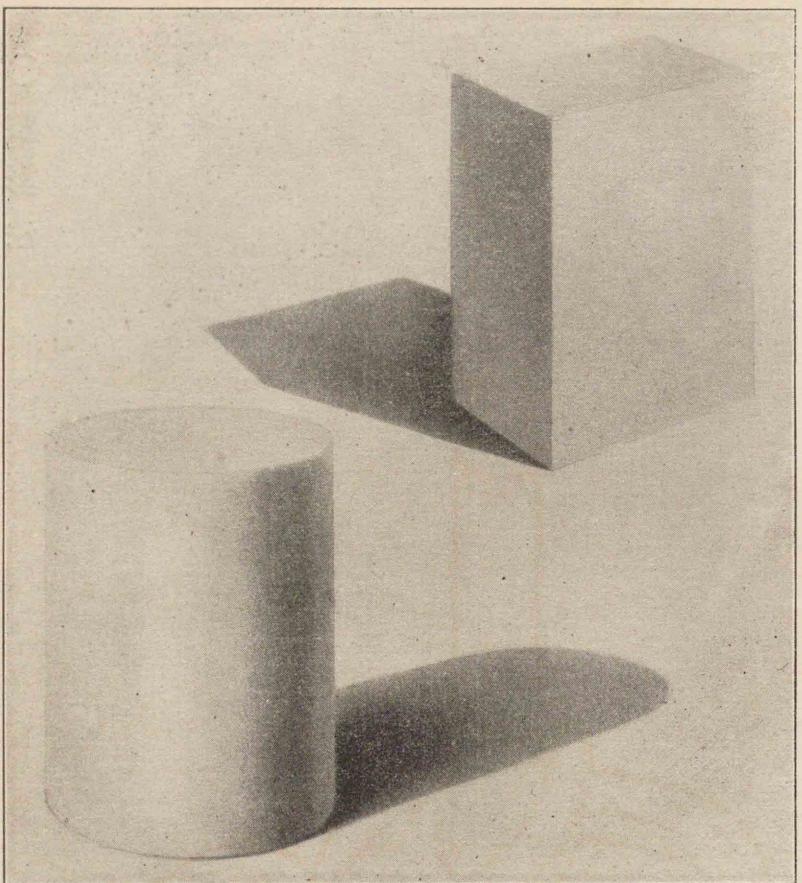


尺 卷

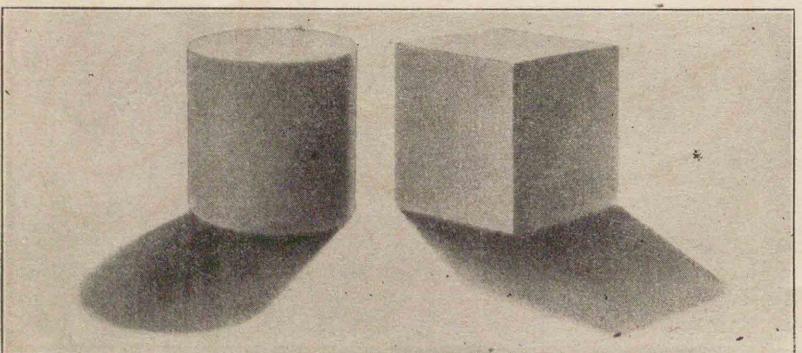


輪ト輪投げ臺

○ 陰影法



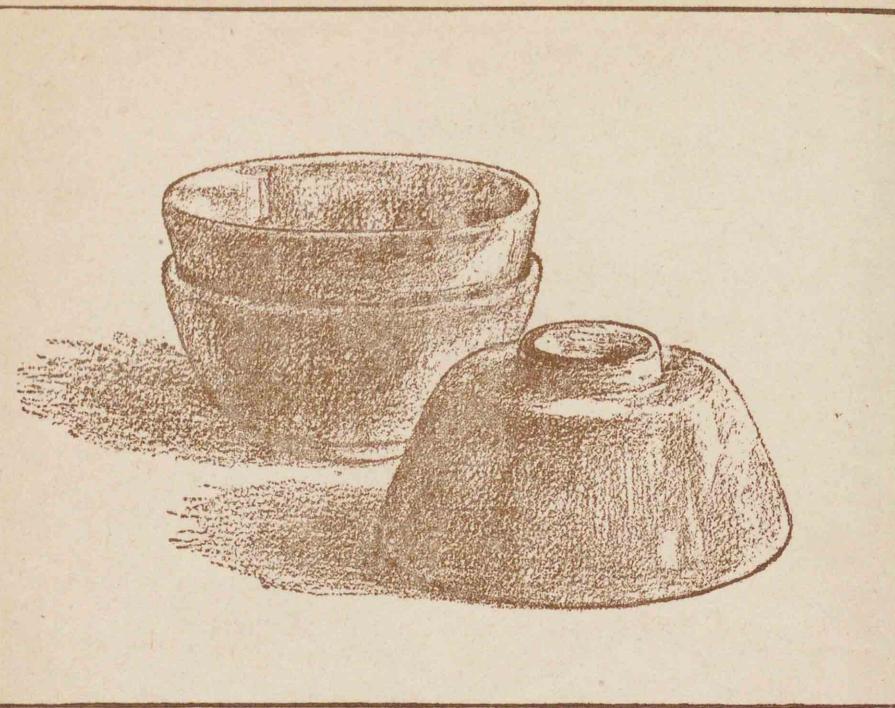
線光るれ來りよ方後の者畫——毒圓・毒角



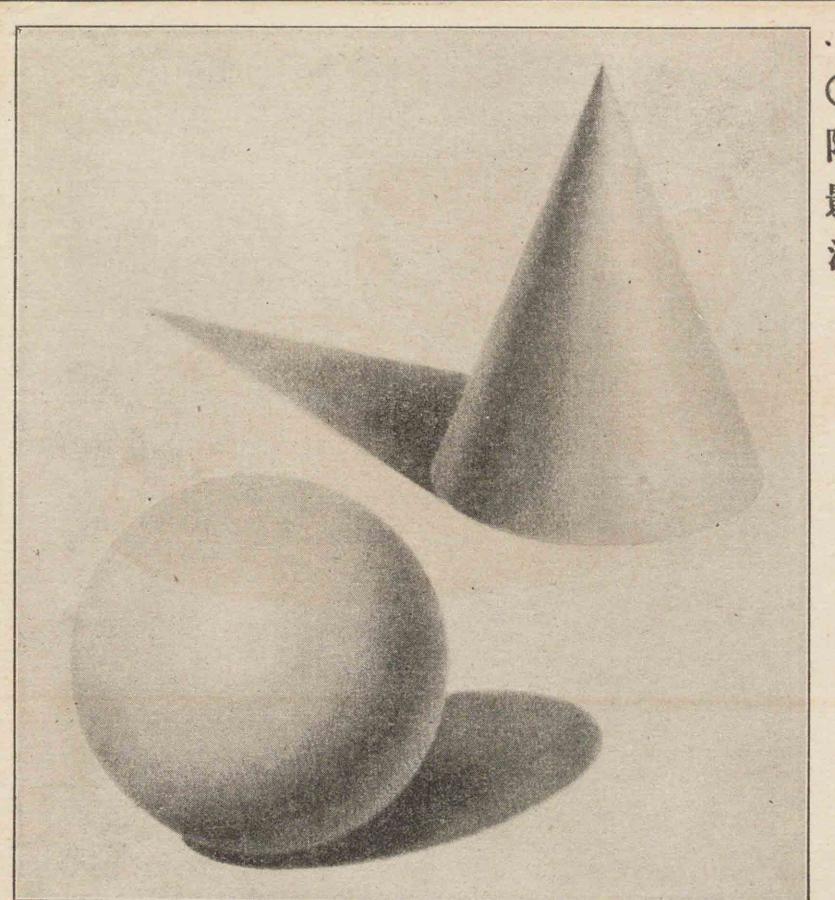
線光るれ來りよ方の前者畫——毒圓・毒角



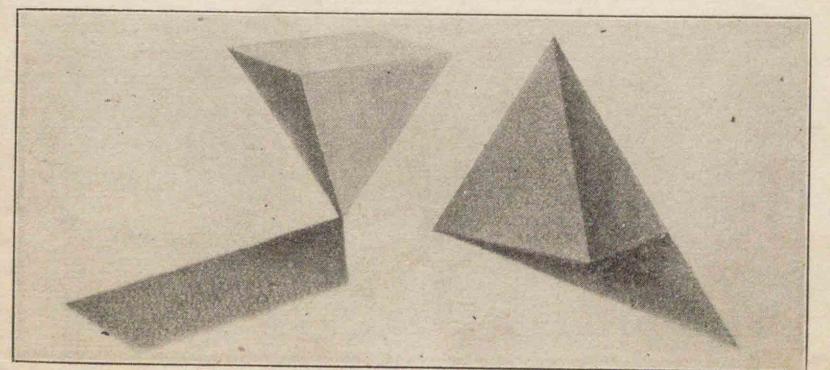
○陰影法



碗 茶

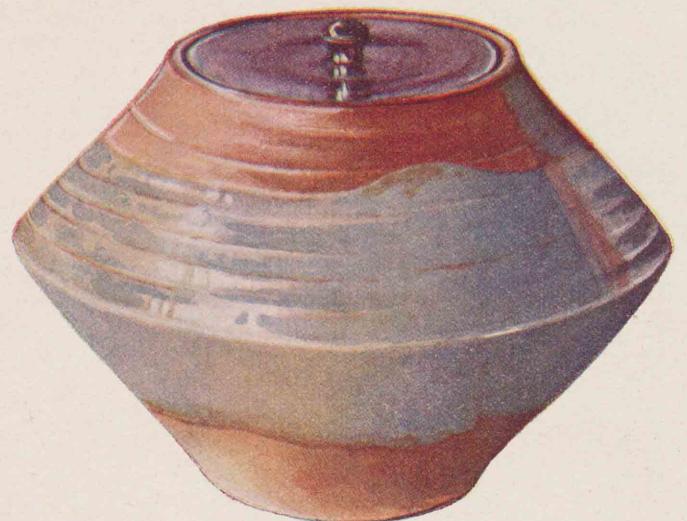


線光され來りよ方後の者畫——球・錐圓

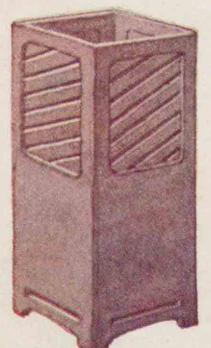
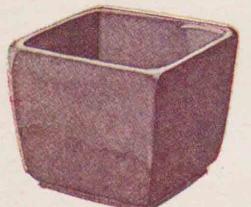


線光され來りよ方前の者畫——錐方

○光
點



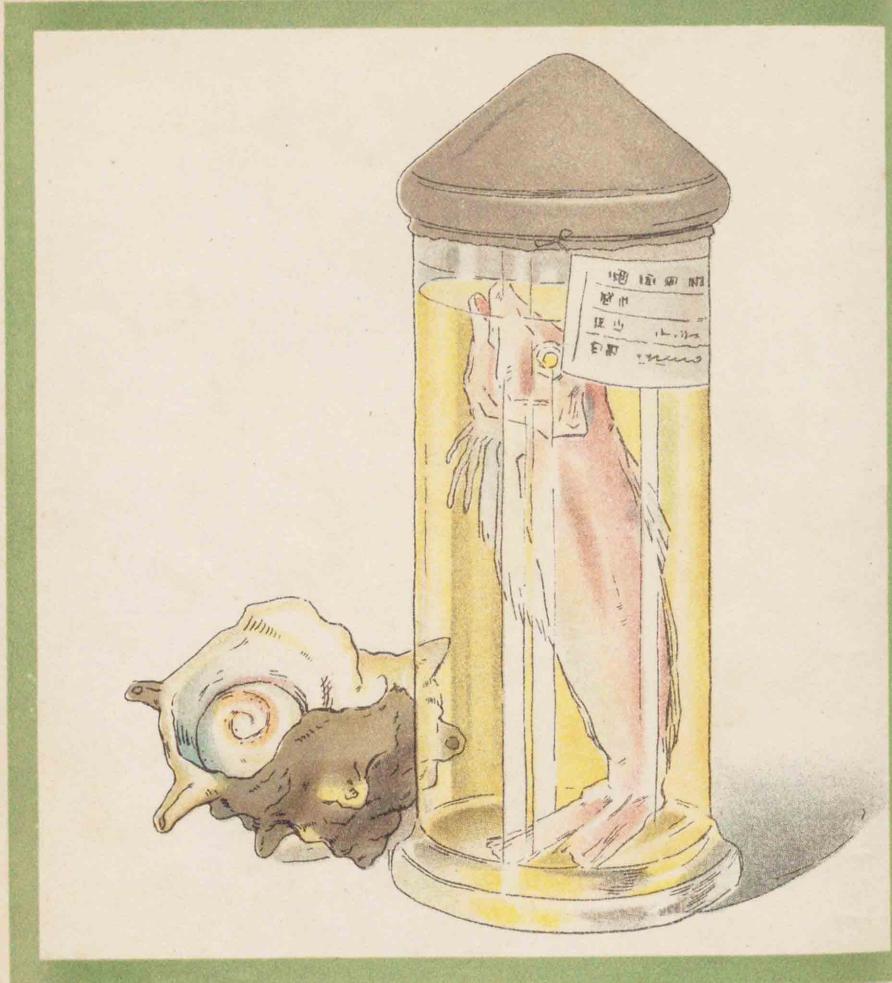
指 水



立箸・鉢小

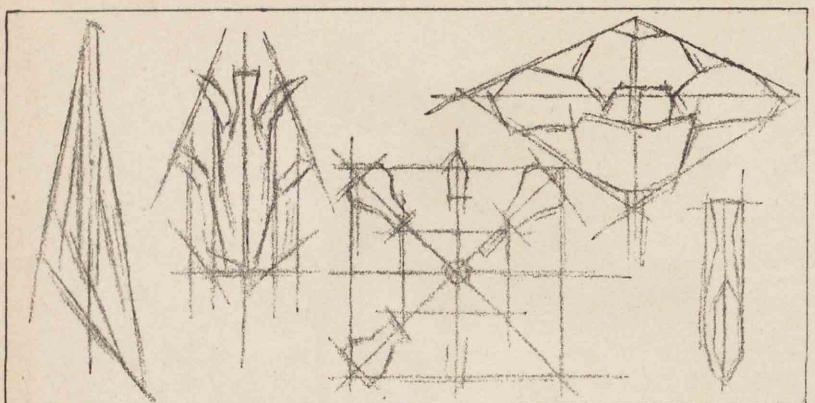


注 油 醬

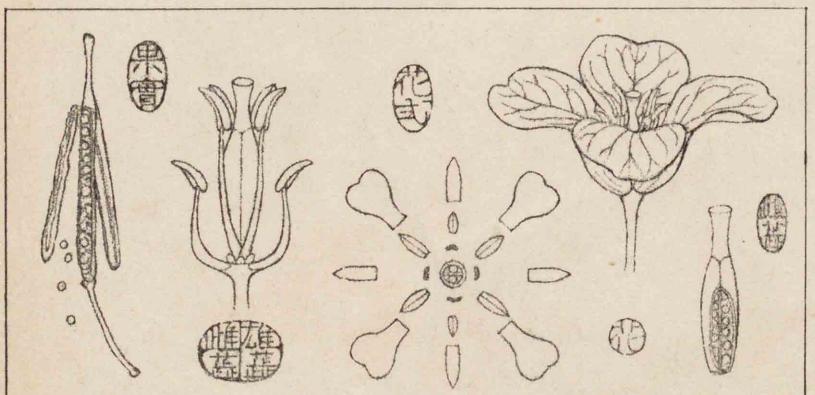


博物標本

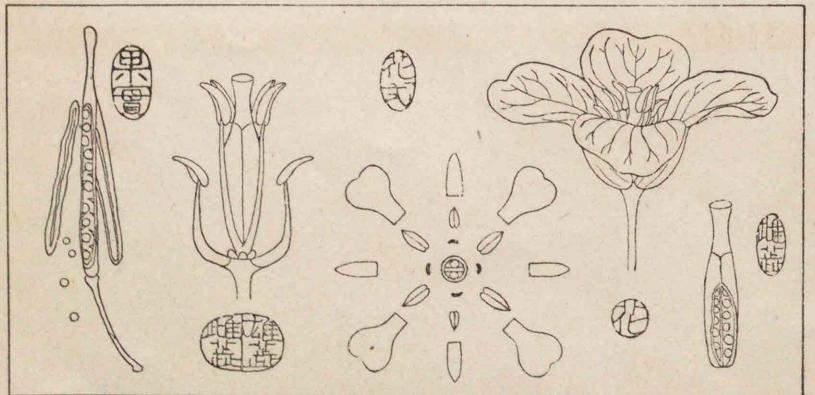
○花の解剖的の描方



方り取の形の體大

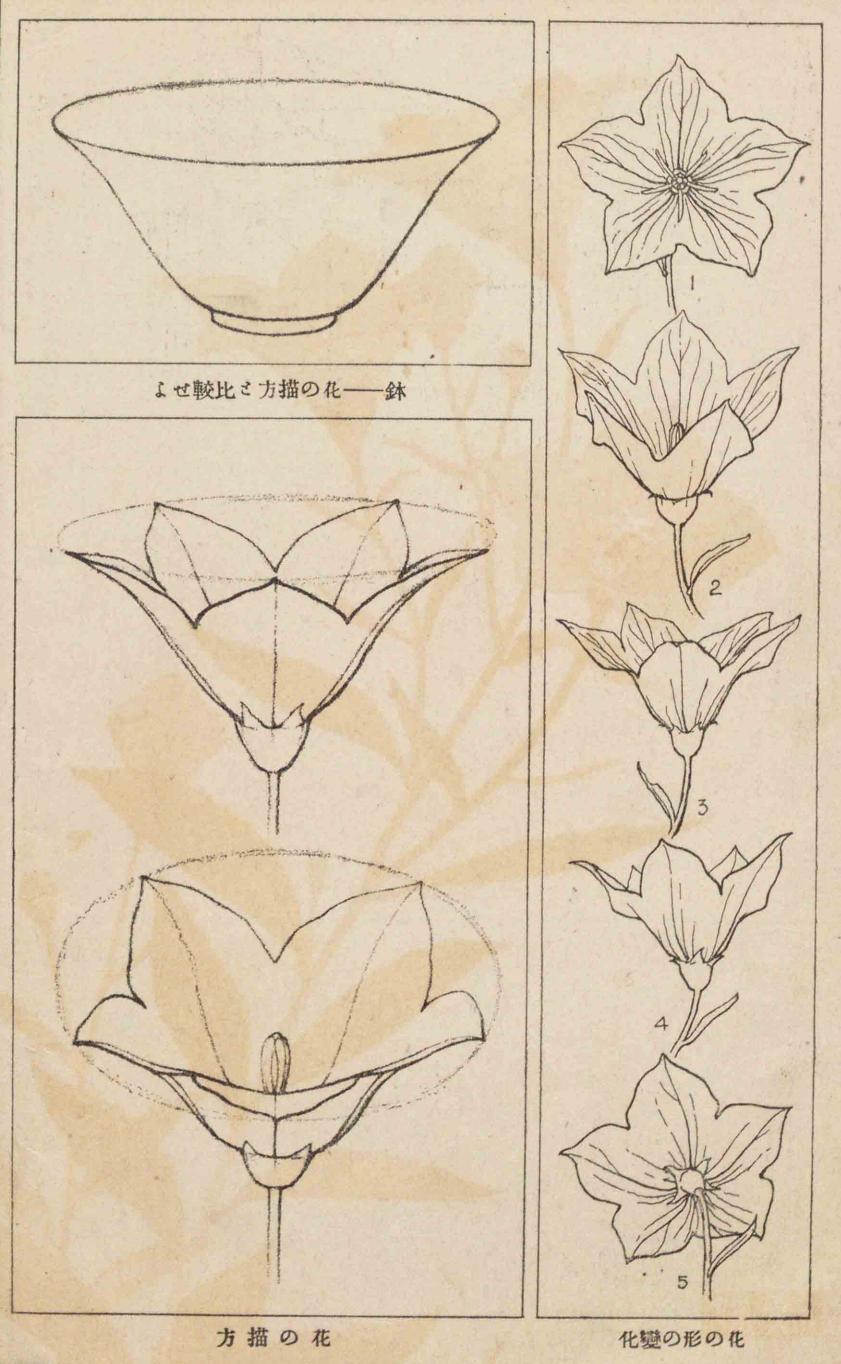


合場るたげ上仕てに筆鉛



合場るたげ上仕てにシベ

○花の描方



梗桔

19

18



ほがさわ





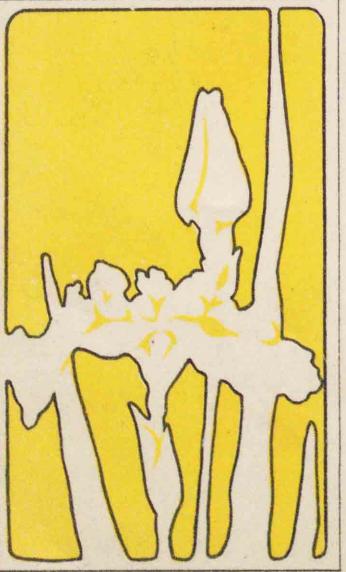
花のらば



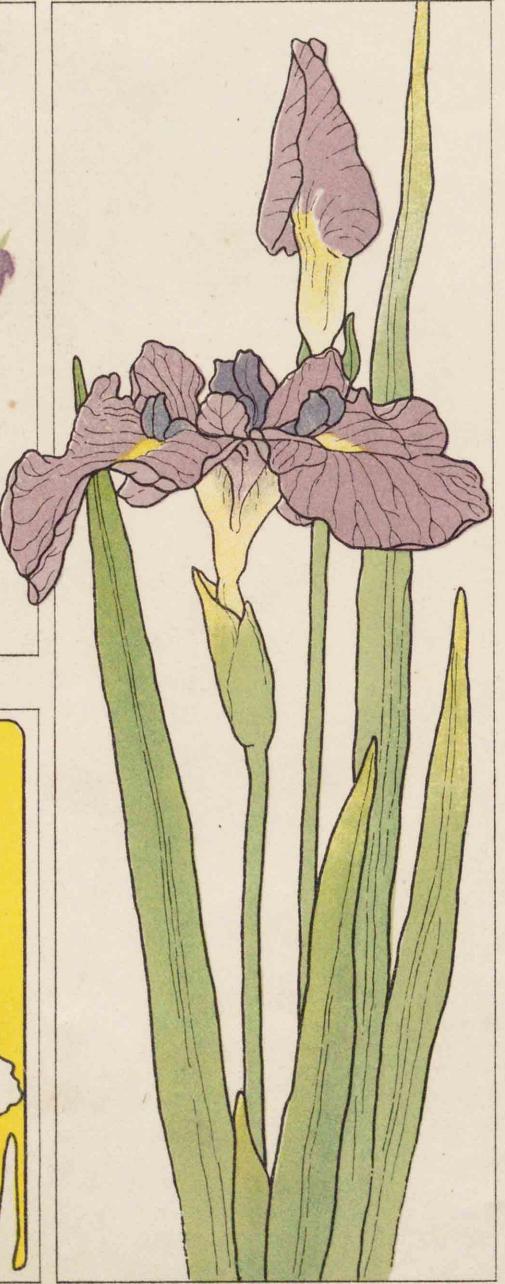
○花の細寫・略寫・模様化



寫 略



化 様 模



寫 細—蒲 葛

むくげ 毛筆濃淡



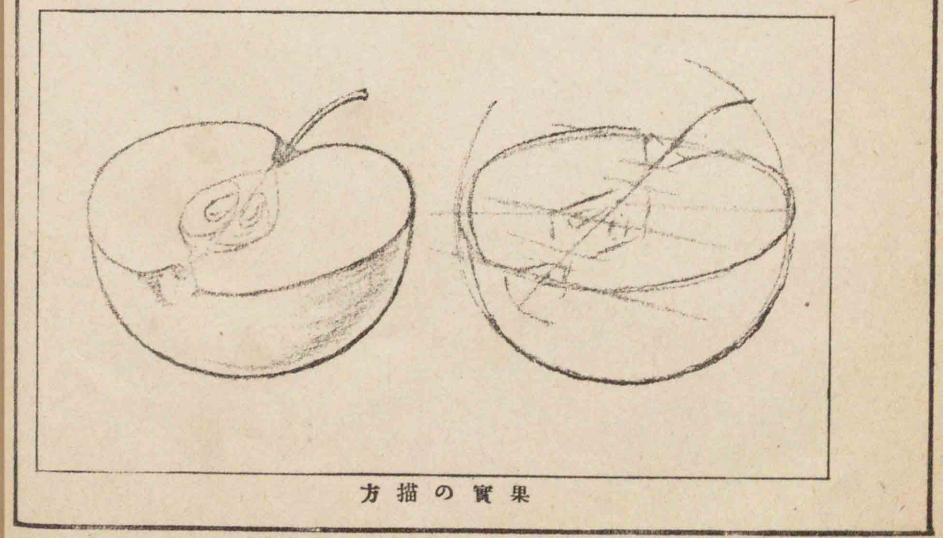
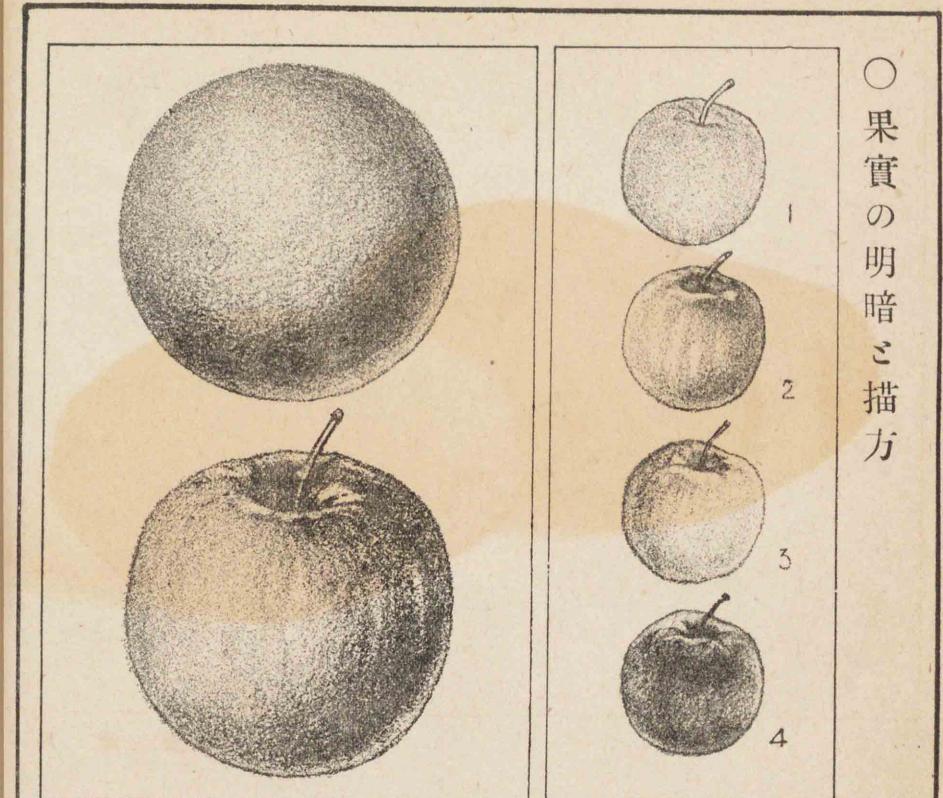
24



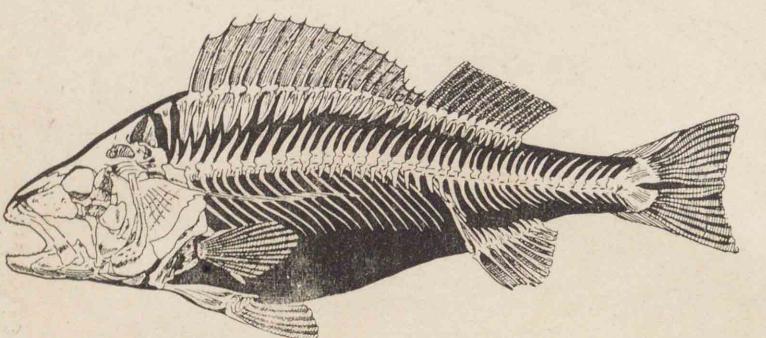
○ 果實の明暗と描方



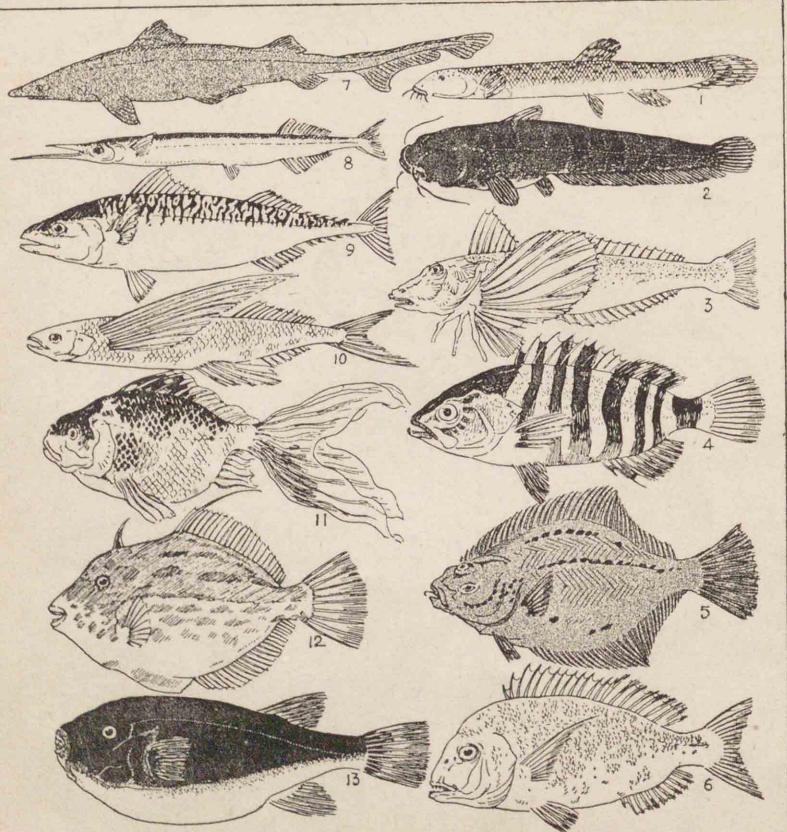
薯 鈴 馬



○魚の骨格と形

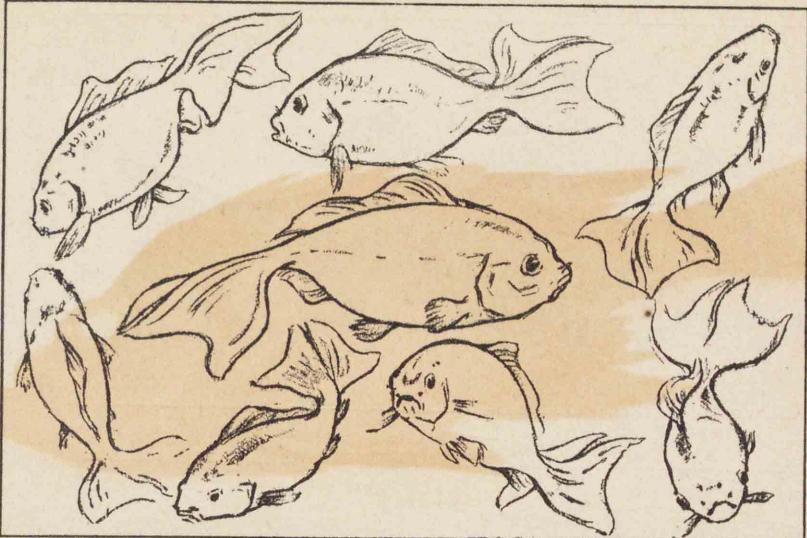


骨の魚



形の魚

○魚の活動姿勢及び介類

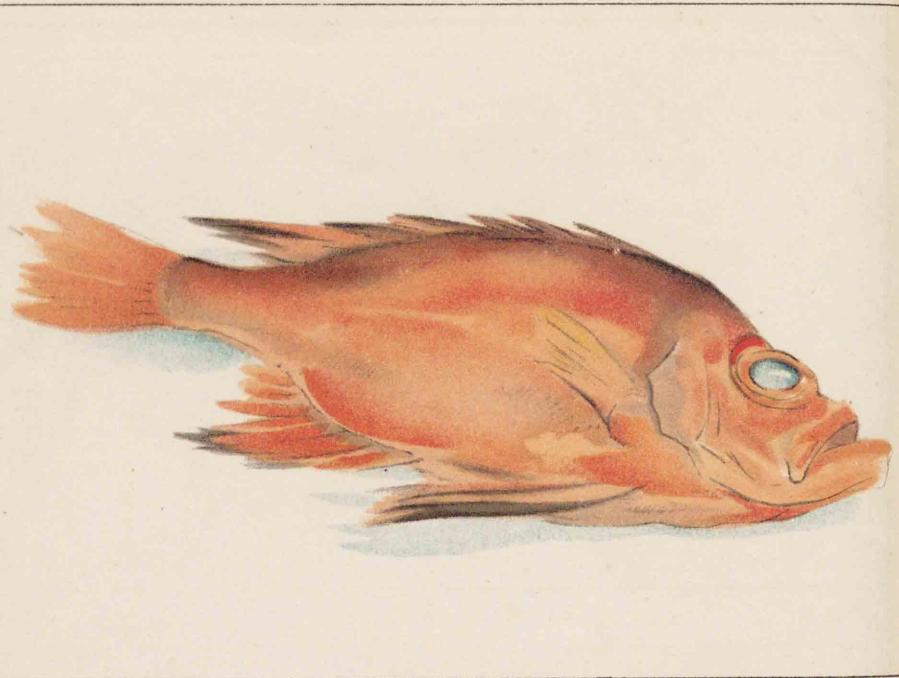


魚 金



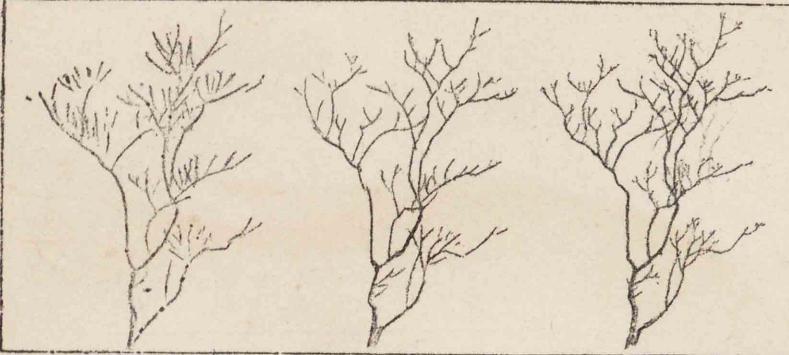
高 目

類 介



ひだきとんき

○ 枯木の描方



鹿精の方描の木枯



種各の木枯

○ 緑樹の描方



彩淡筆鉛——椎

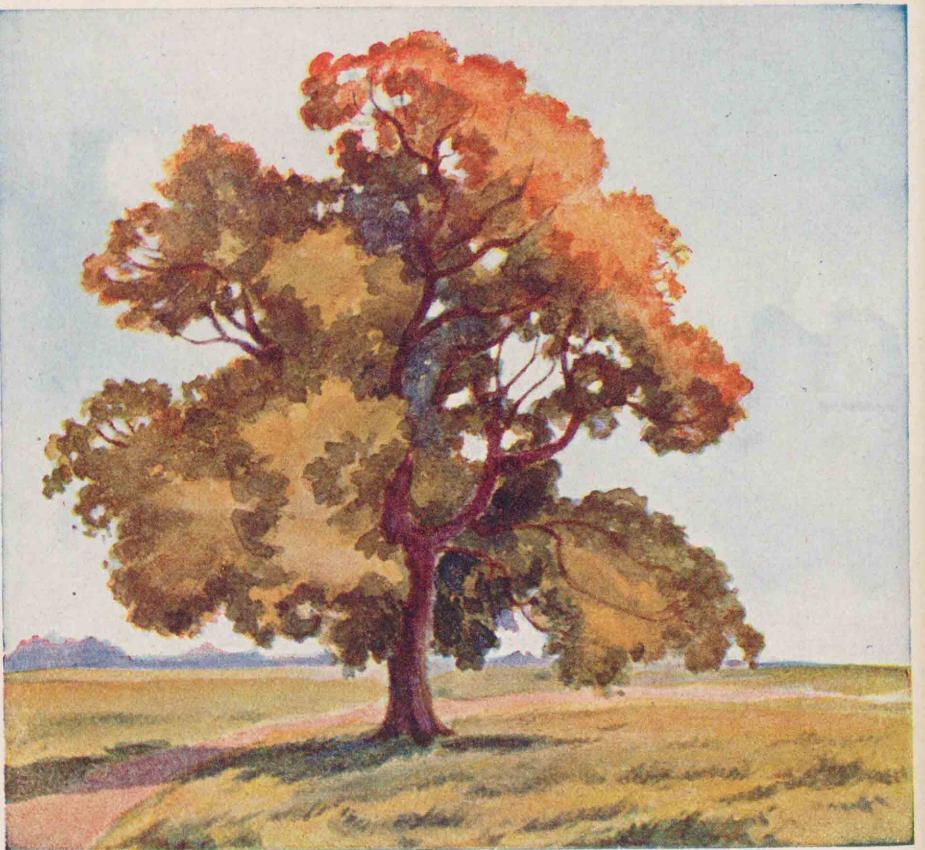
水平
天地
一張



龍精の方描の樹綠

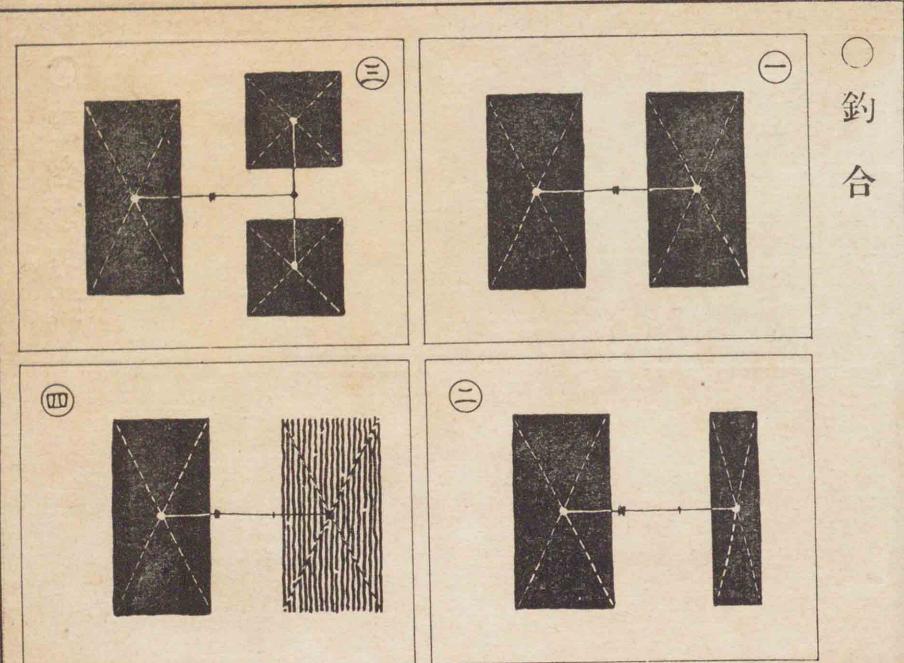


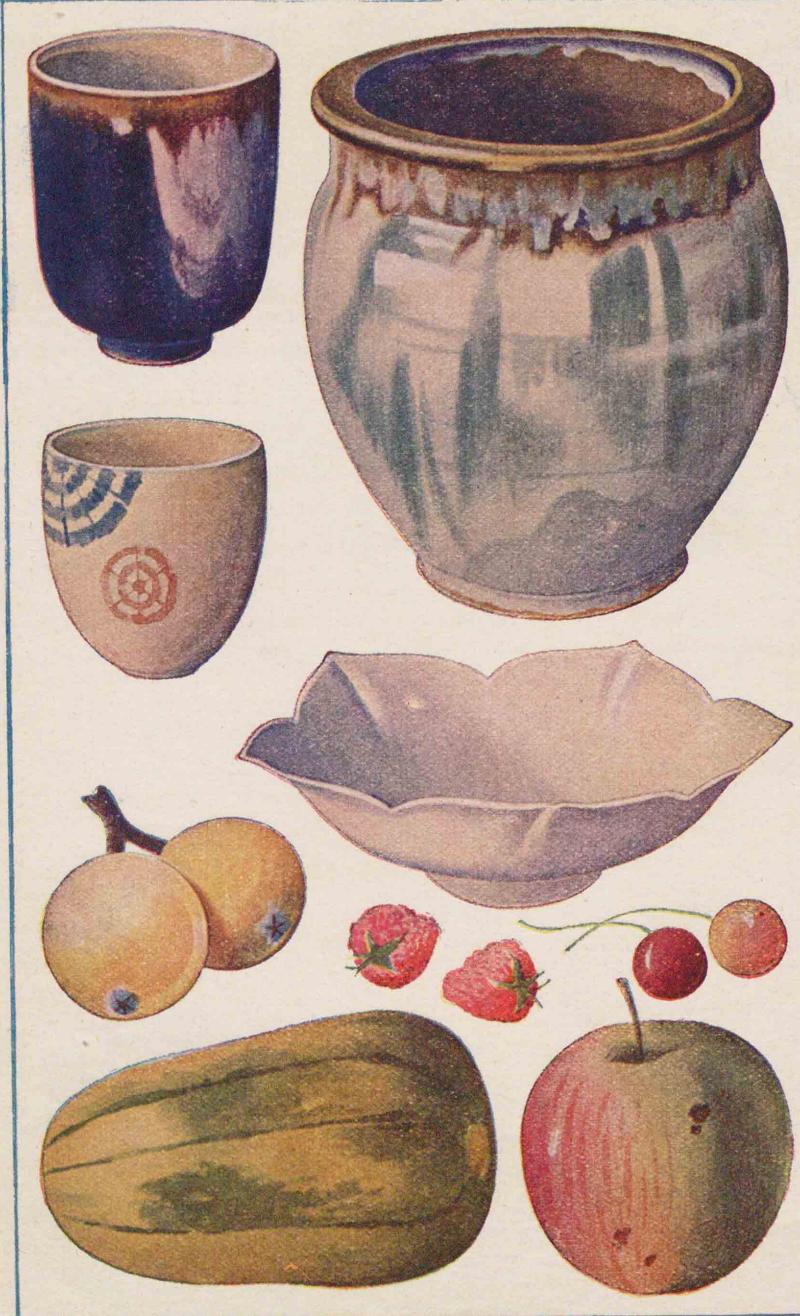
種各の樹綠



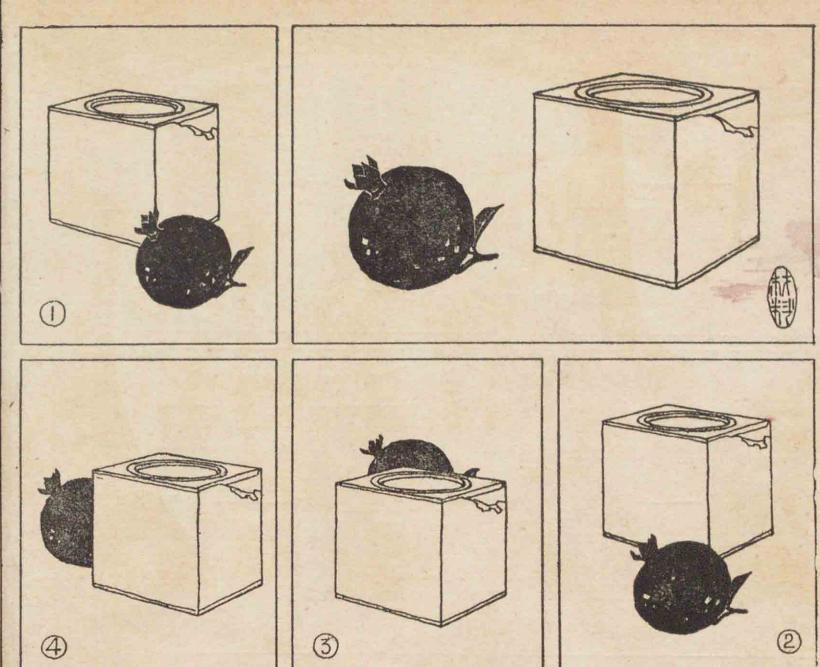
彩水——楓

○釣合

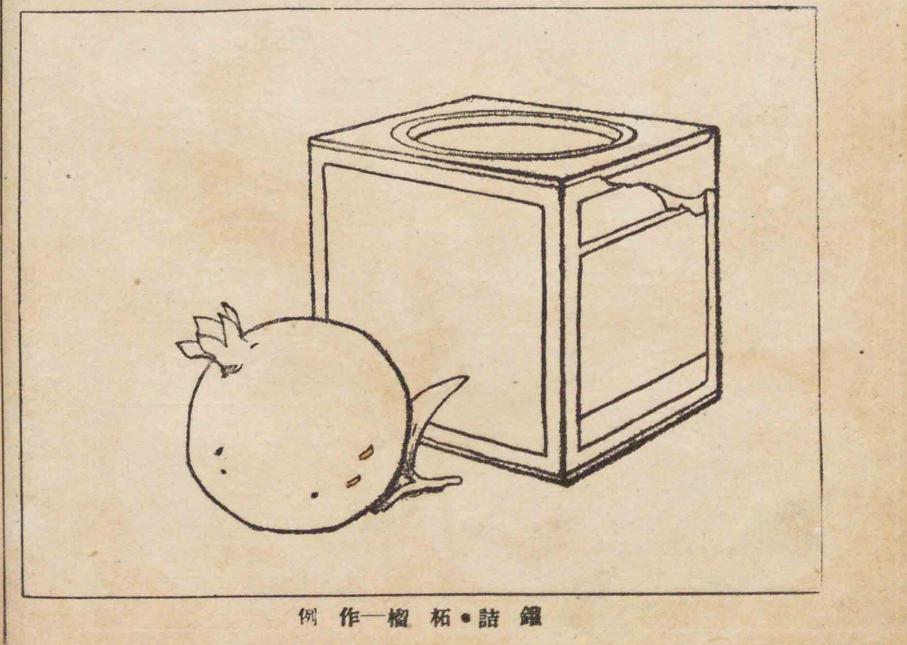




○配合の問題一（左圖の或物を配合して適當なる一圖を作れ）



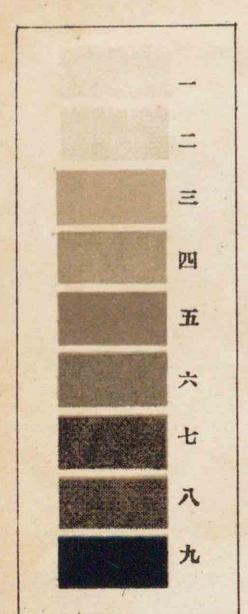
何如拙巧の合配の圖上



例作一 檸 柏・詰 鐘

○配合の巧拙

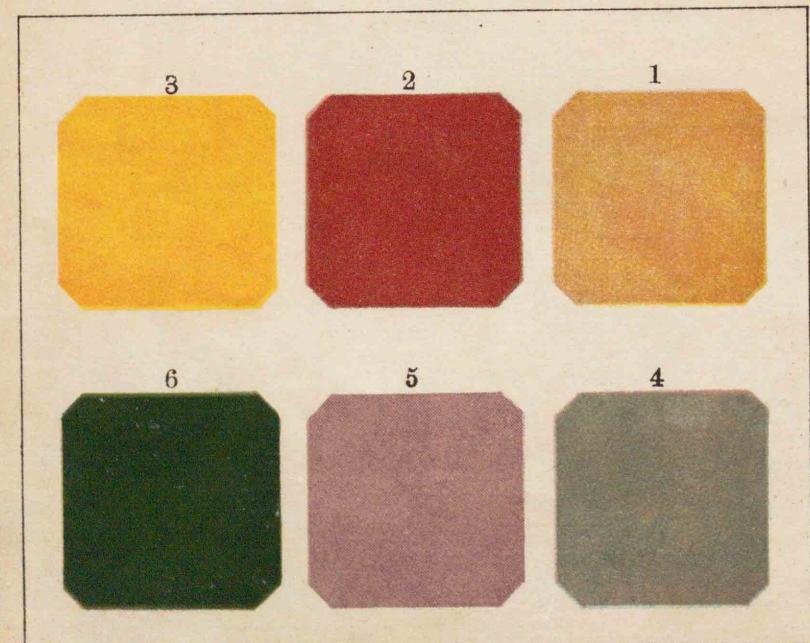
○標準色・明度



明度



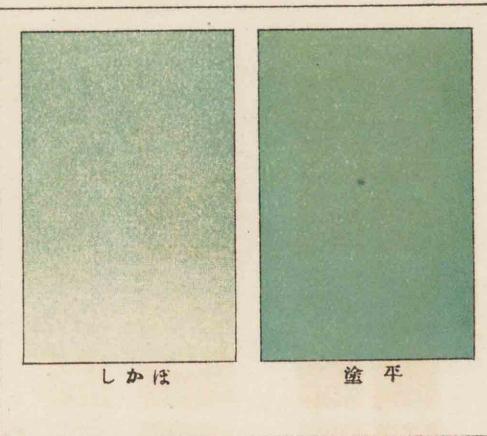
標準色



方し出の色のてに具繪(B) 屬所の色(A)——題問



縞



方塗

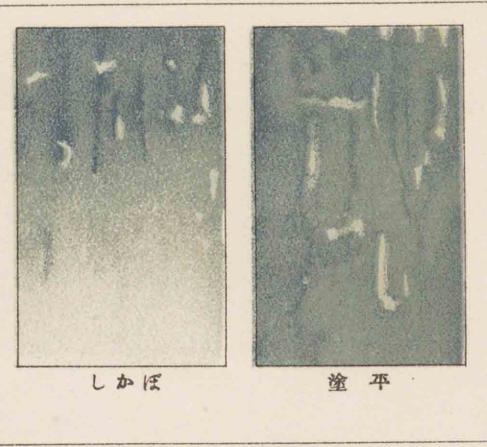
○繪具の塗方——(平らなる塗方)



壺



絨 毡

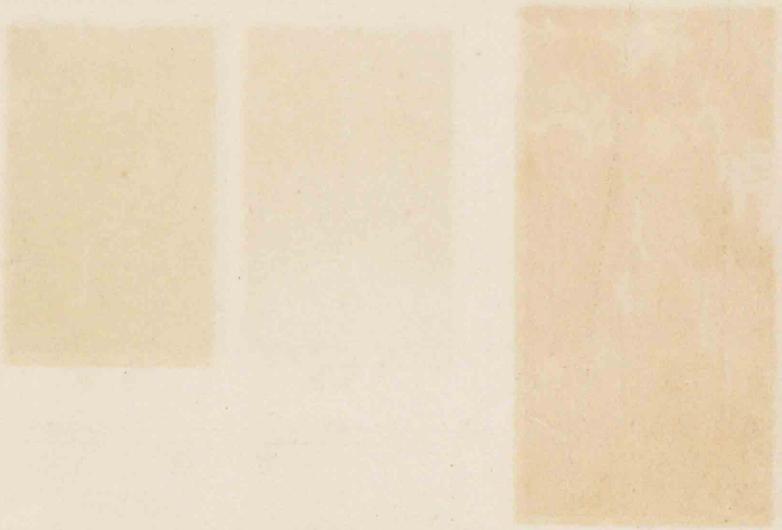


方 塗

○繪具の塗方——(むらある塗方)

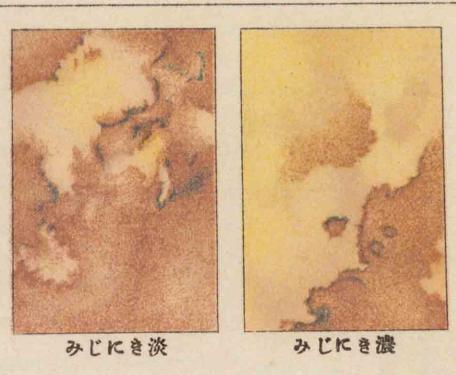


瓜 南



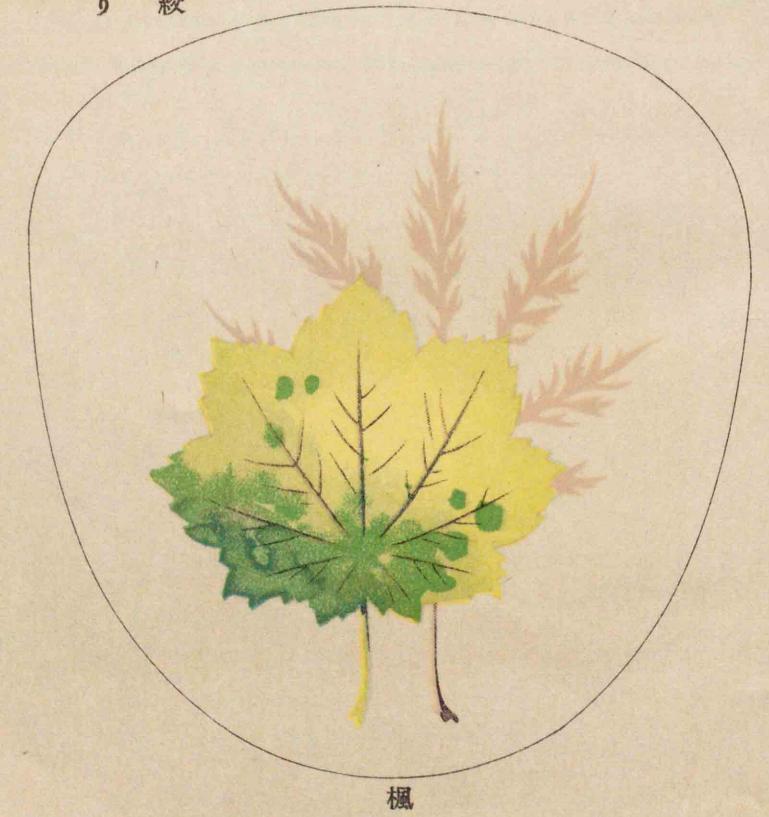


り 絞

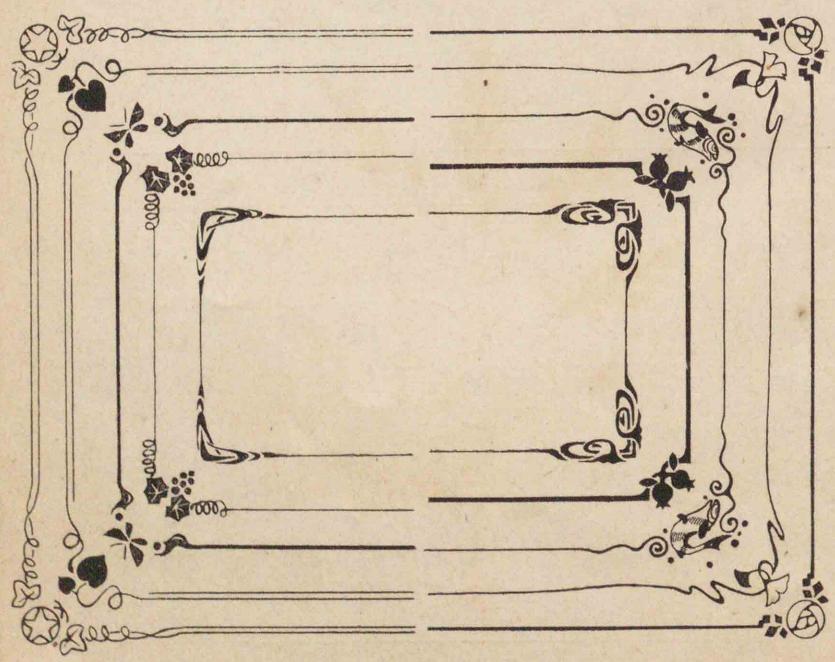
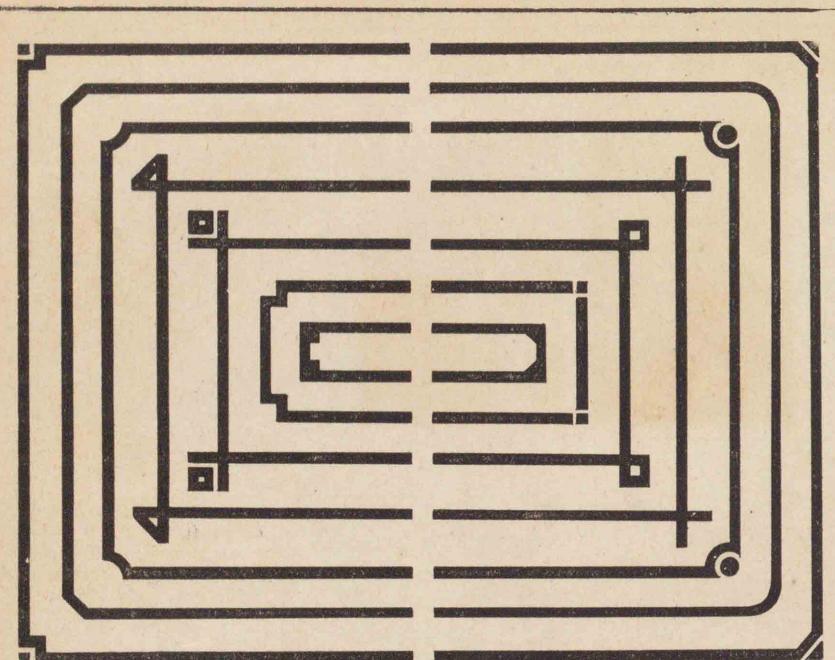


方 塗

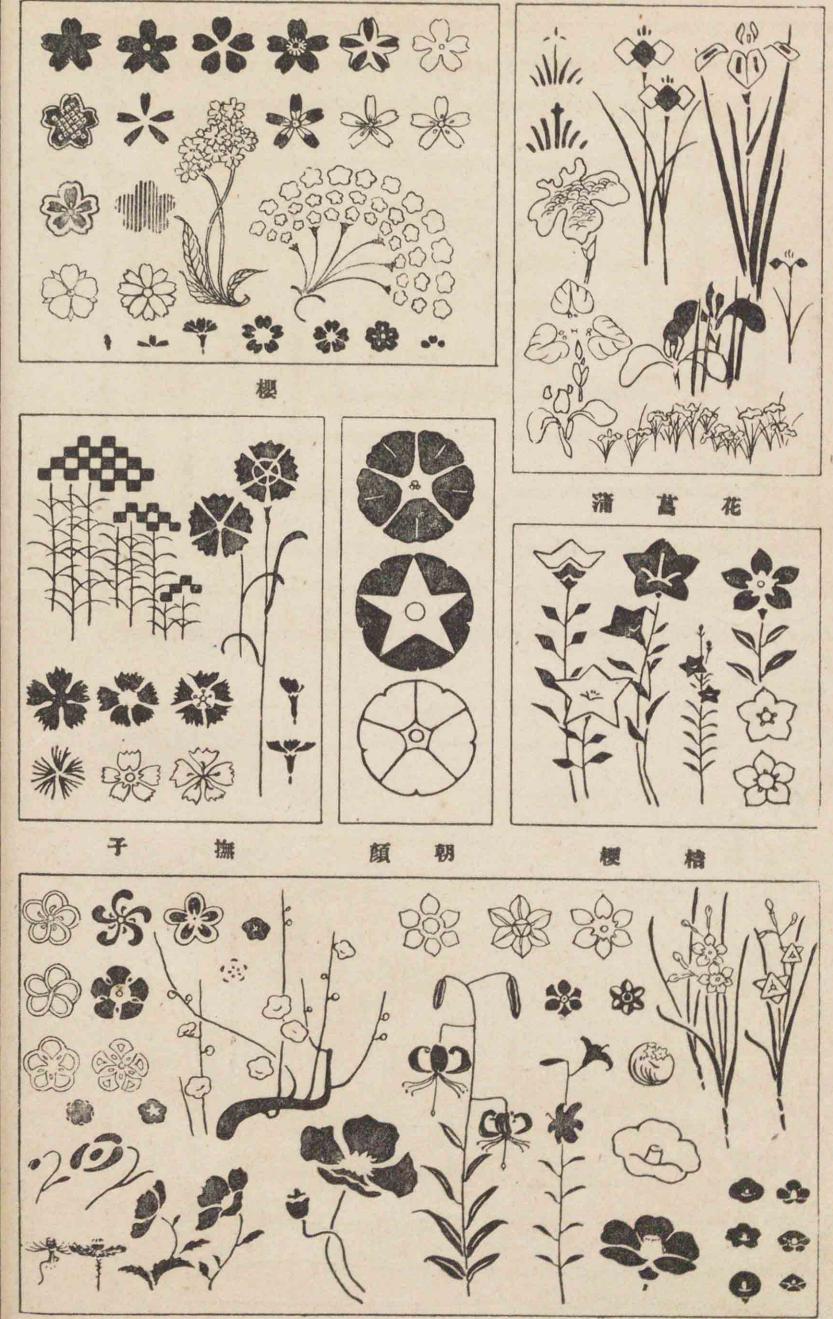
○繪具の塗方——(にじみぼかし)



○ 枢の意匠

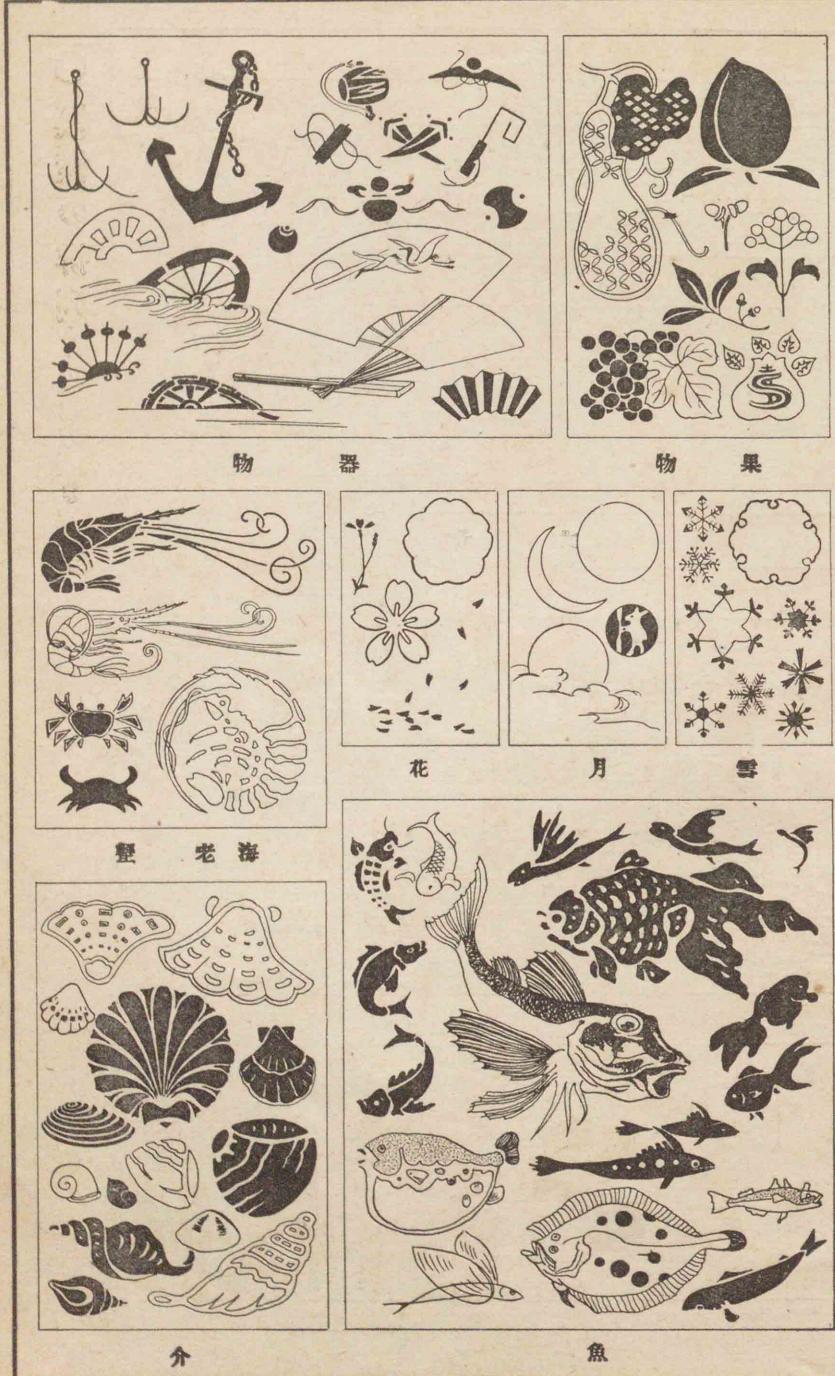


○ 模様化の作例

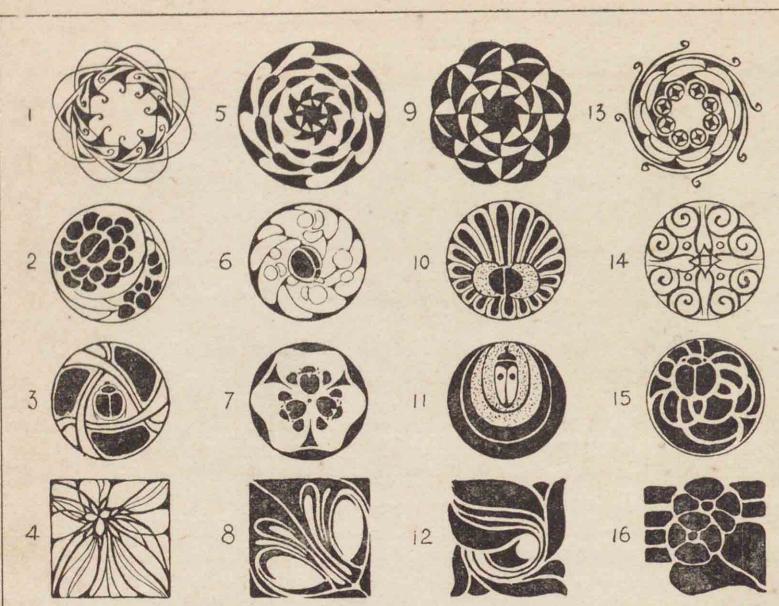


雜

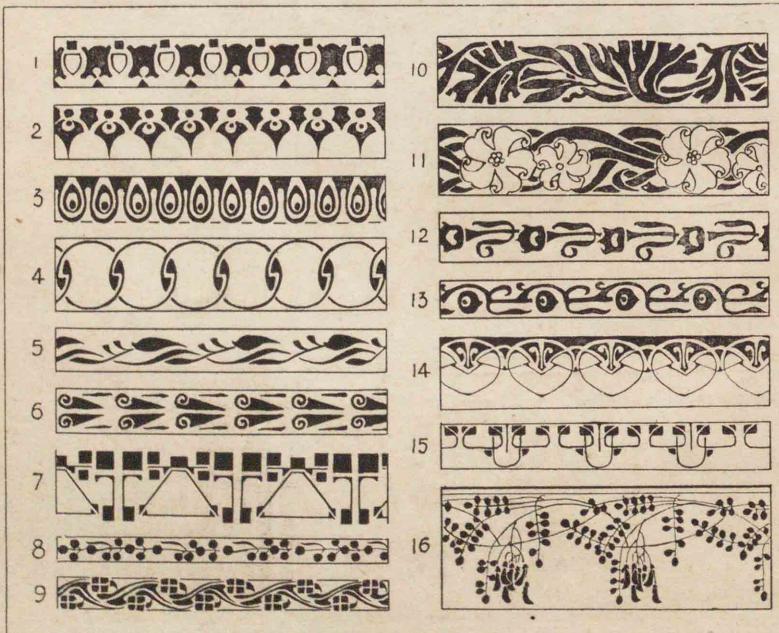
○ 模様化の作例



魚



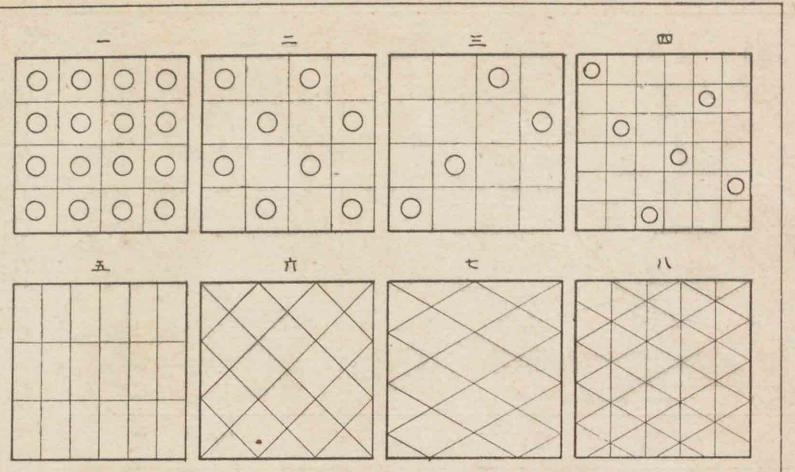
單獨模樣



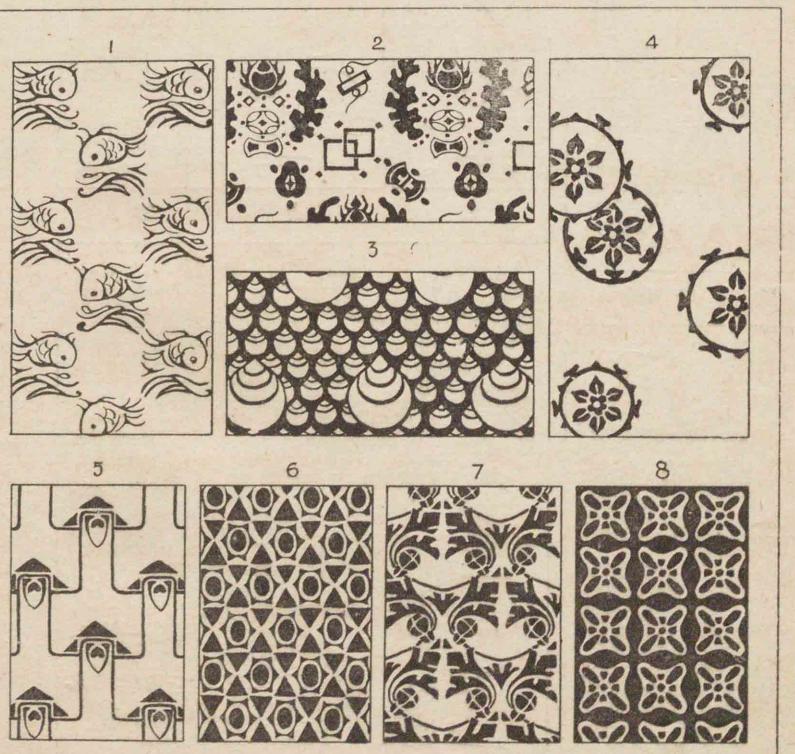
二方續き模様

○ 模様の排列……(單獨模樣)

(二方續き模樣)



式骨

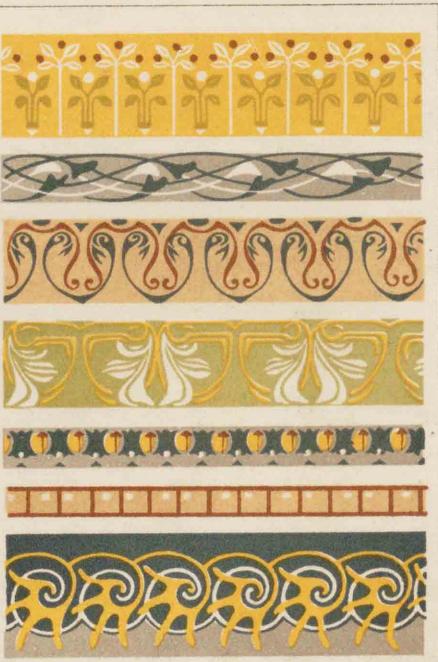


例作

○ 模様の排列……(四方續き模樣)



様模獨單



様模き續方二



様模き續方四

○模様の彩色



○文字の模様化



H

マヤミカ

島松

○模様の應用——(表紙裝飾用レツテル)



○ 模様の應用——(表紙)



著作者

阿部七五三吉
谷 鑑太郎

大正八年一月十二日印行
大正八年一月十八日發行
大正八年三月六日訂正印行
大正八年三月十日訂正再版行

印刷所 東京市神田區今川小路一ノ一
發行者 株式會社培風館
代表者 川村理助
印刷者 仙葉元太郎
會社秀英舍

定價
大正十一年度

一、六 五六錢 卷一

一、二 五三錢 卷二

一、八 五六錢 卷三

七四 三九錢 卷四

發行所

東京市神田區今川小路一ノ一
株式會社培風館

(電話九段一二二〇九
振替東京三二六一七九)

(中國學科用書)

第一

學年

十

水林山

広島大学図書

2000021671

